

## 2020年度 サポートシステムあゆみ 放課後等デイサービス自己評価表

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制について	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準以上に配置している。それでも少ないと感じる事もあるが、声をかけ合いながら対応している。色々な状況にすぐに対応できるよう、さらに工夫をしていく。
	3	事業所の設備等の安全について常に配慮しているか	○			
業務改善	4	業務改善を進める為のPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		日々振り返りはしているが、システムとして確立できるよう検討する。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		毎年アンケートを実施しているが、昨年度のアンケート結果を受けての改善目標が、コロナ対策の影響もあり達成できない事があった。状況を見ながら改善していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者により外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	検討中。
	8	職員の資質の向上の為に、研修の機会を確保しているか	○			新型コロナウイルスの影響で外部研修の機会が減ったが、オンライン研修等も活用して機会を確保した。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの状況を把握する為に、アセスメントツールを使用しているか		○		客観的で実用できるアセスメントツールの作成を検討中。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		曜日別の担当職員を中心に他の職員とも連携して立案しているが、一部不十分な場合があった。週毎に確認し合う機会を持ち、協力して立案していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平時・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			

		項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点
適切な 支援の 提供	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか		○		以前より打ち合わせが減り、個別に伝達して補っている。確実に打ち合わせを行えるよう時間確保の工夫をする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		曜日担当職員を中心に話し合っているが、時々話し合いができない時もある。必ずできるよう時間の確保に努める。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録を録り、それを基に支援計画の見直しをしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか		○		ガイドラインに則って実施しているが、再度ガイドラインの内容を全職員に周知する事が必要。
関係機 関や保 護者 との連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			各学校と予定の確認等、連絡を取り合っている。送迎時にもその日必要な情報を先生に伺っている。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用開始前に児童発達支援事業所を訪問して本人の様子を見学し、情報共有を行った。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		求められた場合は情報を提供するが、積極的には行っていない。必要に応じて保護者に確認して情報提供していく。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	この1年間には行っていない。必要に応じて連携の依頼、研修受講をしていく。
	25	地域の人たちと関わっていける活動の機会があるか		○		戸外活動を通して一部関わりを持っていたが、新型コロナウイルスの影響で行事等は制約する事が多かった。状況を見ながら可能な機会を作っていく。
	26	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	○			奈良市障がい児通所支援連絡協議会に参加している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通の理解を持っているか	○			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	必要に応じて相談・助言を行う。

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	30	保護者からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	新型コロナウイルスの影響で開催できなかった。感染状況が落ち着けば交流会を実施したい。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			以下の体制を取っている。苦情を受け付けた場合は管理者に報告し、状況を把握し対応を検討した上、管理者から保護者に説明する。また、職員間で文書として共有し、再発防止に努める。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	34	個人情報の取り扱いに際し、守秘義務を遵守しているか	○			
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもや保護者の状況に応じて、電話・メールやSNSも利用して情報伝達している。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか			○	新型コロナウイルスの影響で開催できなかった。感染状況が落ち着けば、祭等の地域の方に参加して頂ける行事を行いたい。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		新型コロナウイルス感染症の対策を状況に応じて協議し、都度職員や保護者に周知した。防災・防犯に対しては不十分なので、実用的なマニュアルの作成が必要。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか		○		年間で避難訓練計画を立てているが、都合により予定通りにできず、実施回数が少なくなった。次年度は予定通り3ヶ月に1回以上の訓練を実施する。
	39	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			内部研修を行い、虐待防止意識を高めている。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		放課後等デイサービスでは事案がなかった。法人内他事業の事案を共有できていなかったため、情報共有の体制を整える。